

1. 内政

- ・10日、共産党は、汚職体質は前内閣から改善されていないとしてレアンカ内閣の不信任決議案を議会に提出。同日、コルマン議会議長は、同案は17日に審議される旨発言。
- ・11日、議会は、ウクライナから沿ドニエストル地域を経由してモルドバに入国する外国人の登録を行う検問所をドニエストル川沿いに6か所設置する旨の法案を第二読会において与党議員による賛成多数により採択。同法は沿ドニエストル地域に居住者(含外国人)には適用されず、同日発効。コルマン議会議長は、同法の採択はモルドバのEUに対する義務の一部である旨強調。

2. 経済

▼対外貿易

- ・11日、国家統計局は、本年1～8月期の対外貿易赤字を対前年同期比3.5%増の19億9,000万米ドル、モルドバ製品の輸出額を11.9%増の15億2,000万米ドル、輸入額を7.0%増の35億1,000万米ドルと旨発表。

3. 外政

▼パンジキゼ・グルジア外相のモルドバ訪問(4～5日)

- ・5日、レアンカ首相は、モルドバを訪問中のパンジキゼ・グルジア外相と会談し、両国経済協力、欧州統合路線における協力及び経験の共有、ビリニウスにおける東方パートナーシップ首脳会合の準備状況等に関し協議。
- ・5日、ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相は、パンジキゼ外相と会談し、両国関係の現状及び発展、貿易・経済関係の活性化等に関し協議。会談後、両外相は、欧州統合を目的とした定期的な協議の実施、経験の交換、ジャーナリスト及び市民社会代表の交流等を内容とする「欧州統合分野における両国の協力に関する共同声明」に署名。

▼ヴィゲニン・ブルガリア外相のモルドバ訪問

- ・7日、ティモフティ大統領、レアンカ首相、ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相及びコルマン議会議長は、来訪したヴィゲニン・ブルガリア外相とそれぞれ会談し、貿易・経済分

野を含む両国協力関係、国内改革の実施等の欧州統合に向けたモルドバの課題及び沿ドニエストル紛争の解決等に関し協議。ヴィゲニン外相は、モルドバの欧州統合路線及びモルドバ市民に対するEU査証の免除を支持する旨発言。

▼チョロシュ農業・農村開発担当欧州委員のモルドバ訪問

- ・11日、ティモフティ大統領は、来訪したチョロシュ農業・農村開発担当欧州委員との会談においてDCFTA適用前にモルドバ産ワインにEU市場を開放する旨の欧州委員会による提案に対し謝意を表明。
- ・11日、レアンカ首相及びブマコフ農業・食品産業相は、チョロシュ欧州委員と会談し、農業・農村開発に関する欧州近隣国プログラム等に関し協議。チョロシュ欧州委員は、EUにはモルドバの農産品を受け入れる余地がある旨発言。
- ・11日、コルマン議会議長は、チョロシュ欧州委員と会談し、連合協定仮署名の見通し及びEUとのDCFTAのモルドバ農業に対する影響等に関し協議。
- ・12日、レアンカ首相及びチョロシュ欧州委員は、キシナウ近郊のASCNIワイン醸造会社を視察。

▼その他

- ・9日、ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相は、ラトビアを訪問し、バルト・ベネルクス諸国外相会合に出席。各国外相は、東方パートナーシップの成果及び、同首脳会合の展望に関し協議。
- ・10日、ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相は、世界及び欧州の死刑廃止デーに際し、死刑廃止を呼びかける欧州評議会加盟42か国外相による共同声明に署名。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)